



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 日本金属株式会社

コード番号 5491 URL <http://www.nipponkinzoku.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 平石 政伯

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 管理部門副部門長

(氏名) 根本 恵央

TEL 03-5765-8100

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	20,909	△6.0	692	△53.4	490	△60.6	308	△48.3
23年3月期第2四半期	22,236	33.4	1,486	—	1,244	—	597	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 200百万円 (△57.6%) 23年3月期第2四半期 473百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	4.61	—
23年3月期第2四半期	8.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	58,550	15,001	25.6	224.05
23年3月期	58,913	14,801	25.1	221.05

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 15,001百万円 23年3月期 14,801百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

24年3月期の期末及び年間の配当金額は未定であります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	△0.3	1,900	△23.1	1,500	△25.4	800	△9.7	11.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	67,000,000 株	23年3月期	67,000,000 株
24年3月期2Q	41,498 株	23年3月期	41,376 株
24年3月期2Q	66,958,604 株	23年3月期2Q	66,960,010 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により自動車、電機産業に甚大な影響が生じましたが、サプライチェーンの復旧につれて持ち直しの動きが出ております。しかしながら原発事故に起因する電力問題や急激な為替の変動により国内産業の海外移転が進み、空洞化の様相を示しております。

世界経済はアジアを中心とする新興国需要が牽引し、穏やかな成長が予測されますが欧州の財政問題、アメリカの景気不安、中国におけるインフレ抑制策による調整などが懸念されます。

ステンレス業界においては、国内では震災による復興需要はあるものの、自動車、電機産業の大幅な生産調整と電力問題の発生により需要は減少いたしました。海外では円高の影響により価格競争力が大きく低下しております。

当社グループは、このような状況のもと、よりユーザー密着型とするためプレゼンテーションを強化すると同時に市場調査を充実し次世代商品を開発、さらに技術革新を進めてまいりました。

その結果、第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、前年同期と比較し13億2千6百万円(6.0%)減収の209億9百万円となりました。損益面につきましては、営業利益は、前年同期と比較し7億9千4百万円(53.4%)減益の6億9千2百万円、経常利益は、前年同期と比較し7億5千4百万円(60.6%)減益の4億9千万円、四半期純利益は、前年同期と比較し2億8千8百万円(48.3%)減益の3億8百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①みがき帯鋼部門

ステンレス鋼帯の自動車用途につきましては、震災影響により国内だけでなく海外自動車メーカーの生産にも影響がおよびモールド材などの数量回復が遅れております。また、欧州や米国での景気低迷で太陽電池向け的大幅な調整が行われ、超円高の為替相場による大幅な価格競争力低下とあいまって非常に厳しい受注環境でありました。

みがき特殊帯鋼につきましては、主力の自動車用途では、震災直後は影響がありましたが、幅広い車種に採用されていることもあり、上期後半には回復し、また刃物関連での復興需要もあり、大きな減収はありませんでした。

マグネシウム合金帯につきましては、プレゼンテーション活動の継続や加工技術の指導も含めた拡販活動を行っており、IT機器向けでの新規採用などで数量金額共に伸張しております。

以上の結果、みがき帯鋼部門の売上高は、前年同期と比較し16億2千9百万円(8.9%)減収の167億6千6百万円となりました。営業利益は、前年同期と比較し7億9千4万円(49.0%)減益の8億2千8百万円となりました。

②加工品部門

加工品部門では、震災による受注への影響はありましたものの、戦略商品である異形鋼のプレゼンテーション強化による受注増、精密細管ではヨーロッパ向け環境対応車に使用されるセンサー管の受注増などにより、震災影響による受注の落ち込みを補う以上の販売を確保いたしました。また、フォーミングに加え新たに平鋼製品の海外生産の準備を開始しました。

以上の結果、加工品部門の売上高は、前年同期と比較し3億2百万円(7.9%)増収の41億4千3百万円となりました。営業利益は、前年同期と比べ3千7百万円(9.8%)増収の4億1千6百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ3億6千2百万円減少の585億5千万円となりました。流動資産は、1億6千4百万円減少の274億4千2百万円となりました。有利子負債の5億4千6百万円の減少及びたな卸資産の増加等により現金及び預金は12億1百万円減少いたしました。一方、たな卸資産は夏場の電力不足対応で前倒し生産を行いました、円高の影響により自動車向けの回復がずれ込み、11億4千3百万円増加いたしました。固定資産は、1億9千7百万円減少の311億8百万円となりました。これは主に、有形固定資産が1億2百万円減少し、株価下落に伴う含み益の減少により投資有価証券が1億1千4百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ5億6千3百万円減少の435億4千8百万円となりました。これは主に、長期、短期を合わせた借入金が5億1千6百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ2億円増加の150億1百万円となりました。これは主に、株主資本が四半期純利益3億8百万円により増加した一方、有価証券の含み益の減少により、その他の包括利益累計額が1億7百万円の減となったことによるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は、25.6%(前連結会計年度末25.1%)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期までは東日本大震災により国内全ての企業でその影響を受け、需要は大きく減少いたしました。全ての産業を取り巻くサプライチェーンの再構築が順調に進んでいくことから、第3四半期以降の需要は回復すると期待されます。一方ステンレスの原燃料である石炭、鉄鉱石の価格、加えてニッケル、クロム価格は小幅であります。また、タイ王国での大規模な洪水発生により、当社連結子会社のNIPPON KINZOKU(THAILAND) CO.,LTDが被災しており、特別損失の発生が予想されます。このような状況から先行きは不透明であり非常に予測しがたい状況にありますが、当社グループでは、第8次中期経営計画の確実な実行とリサーチ、テクノロジー、プレゼンテーションを有機的に結合させて活動することで、当社の業績目標達成を図ってまいります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,013	5,811
受取手形及び売掛金	11,014	11,094
商品及び製品	4,106	4,518
仕掛品	3,323	4,021
原材料及び貯蔵品	1,022	1,055
その他	1,151	1,008
貸倒引当金	△25	△68
流動資産合計	27,607	27,442
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,333	4,319
機械装置及び運搬具（純額）	6,385	6,071
土地	16,549	16,521
その他（純額）	781	1,033
有形固定資産合計	28,049	27,946
無形固定資産	275	230
投資その他の資産		
投資有価証券	1,897	1,783
その他	1,147	1,222
貸倒引当金	△63	△74
投資その他の資産合計	2,981	2,931
固定資産合計	31,306	31,108
資産合計	58,913	58,550

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,253	12,427
短期借入金	12,151	13,910
その他	2,452	2,525
流動負債合計	26,857	28,863
固定負債		
長期借入金	10,943	8,667
再評価に係る繰延税金負債	4,034	4,034
退職給付引当金	1,953	1,699
その他	322	282
固定負債合計	17,254	14,685
負債合計	44,112	43,548
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,857	6,857
資本剰余金	986	986
利益剰余金	1,898	2,207
自己株式	△8	△8
株主資本合計	9,733	10,042
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	306	232
繰延ヘッジ損益	—	△14
土地再評価差額金	4,854	4,854
為替換算調整勘定	△93	△113
その他の包括利益累計額合計	5,067	4,959
純資産合計	14,801	15,001
負債純資産合計	58,913	58,550

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	22,236	20,909
売上原価	18,103	17,552
売上総利益	4,133	3,357
販売費及び一般管理費	2,646	2,664
営業利益	1,486	692
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	24	29
受取賃貸料	33	33
スクラップ売却収入	20	31
その他	22	12
営業外収益合計	102	107
営業外費用		
支払利息	163	144
退職給付費用	130	128
その他	50	36
営業外費用合計	344	309
経常利益	1,244	490
特別利益		
固定資産売却益	2	3
その他	6	—
特別利益合計	9	3
特別損失		
固定資産除却損	43	8
投資有価証券評価損	—	3
その他	58	0
特別損失合計	101	12
税金等調整前四半期純利益	1,152	481
法人税、住民税及び事業税	44	89
法人税等調整額	510	83
法人税等合計	555	173
少数株主損益調整前四半期純利益	597	308
四半期純利益	597	308

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	597	308
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△108	△74
繰延ヘッジ損益	—	△14
為替換算調整勘定	△15	△19
その他の包括利益合計	△124	△107
四半期包括利益	473	200
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	473	200
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。